

雄 物 川 水 質 情 報

雄物川水系水質汚濁
対策連絡協議会
事務局
国土交通省東北地方整備局
秋田河川国道事務所
秋田市山王一丁目10-29

第154号の主な内容

○平成29年10月～12月の水質環境調査結果の概要（国土交通省、秋田県、秋田市）

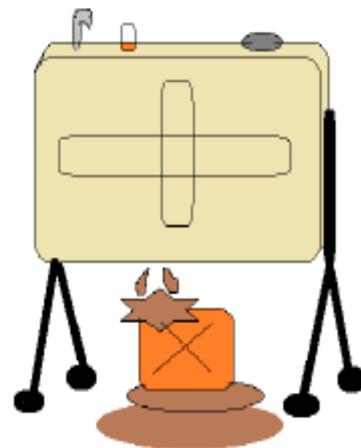
立春が過ぎましたが寒さが続いています。



油事故に注意してください！！

朝夕に寒さを感じられる今日このごろです。最近ではストーブを使っているご家庭も多いのではないのでしょうか。
灯油を扱う時に注意が必要なのが、「油事故」です。その原因のほとんどがホームタンクからポリタンクへ給油時の「うっかり」です。

- ホームタンクから小分けにする時はその場から離れないようにしましょう。
- 元栓がしっかり閉められているか確認しましょう。
- 落雪から給油管を保護したり、給油管の場所がわかるようにして破損防止をしましょう。
- ホームタンクに防油堤を設置しましょう。
- ホームタンク等の点検をしましょう。（配管等の腐食・亀裂がないか、灯油の減る量が早くないか、油の臭いがしないか等）



実際の油事故の様子①

ホームタンクから漏れた灯油が地中→排水路→川へと流れた。うっすらと水面に油膜が浮いている。



流出した油が、地下に浸透したり河川や農業用水路に流出すると、水質汚染や農業被害、人の健康にも影響を与えるおそれがあります。

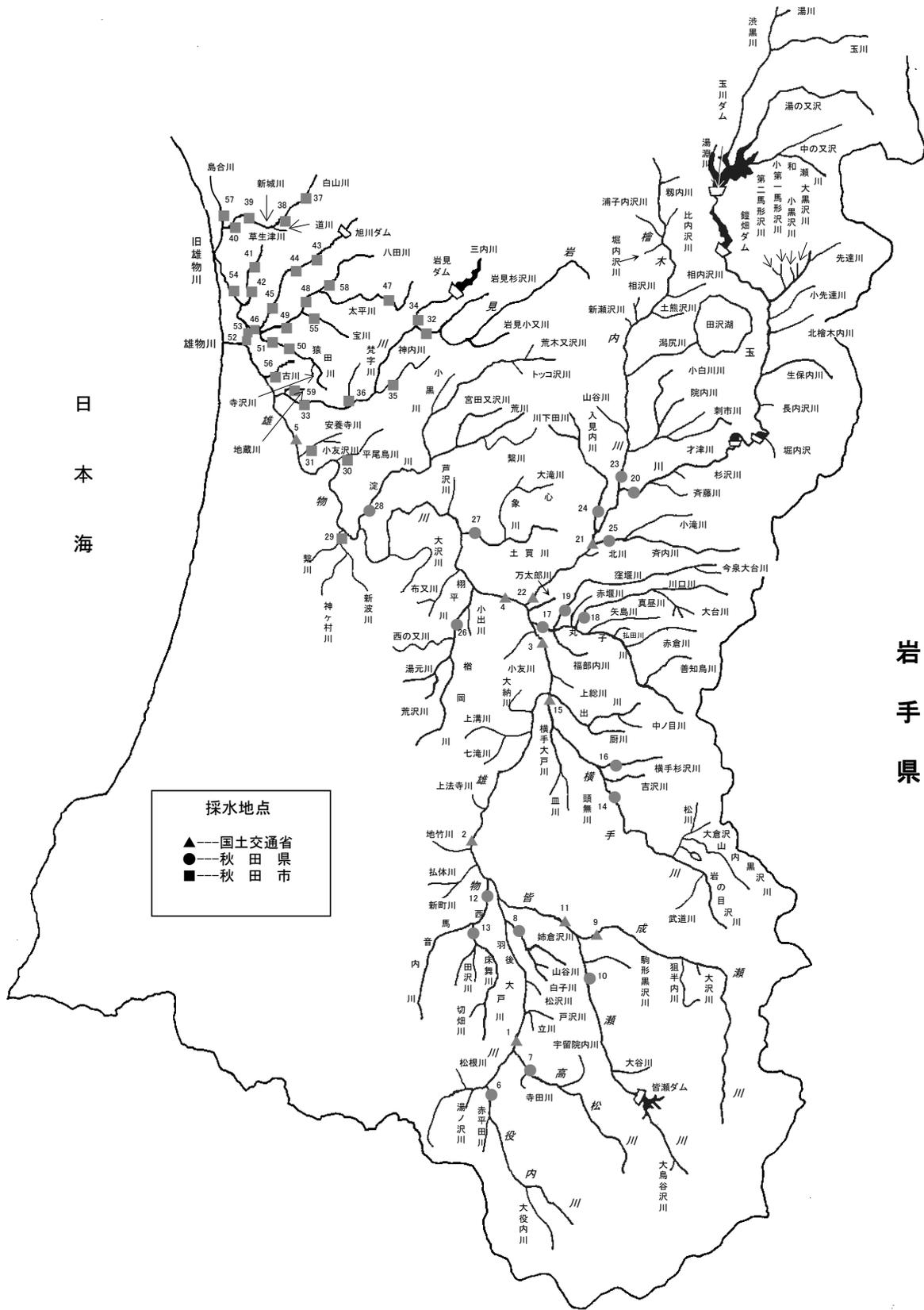
そのため、河川へのオイルフェンス、油吸着マットの設置・回収・処理や汚染土壌の撤去・処理などを行います。これらの処理費用は、**環境基本法第37条と水質汚濁防止法第14条の2により、事故を起こした人（原因者）が負担しなければなりません**ので、十分注意されるようお願いいたします。

実際の油事故の様子②

川に流れた油がこれ以上広がるのを防ぐためにオイルフェンスが設置されている。また油を吸収する油吸着マットも設置されている。



平成29年度 雄物川水系水質環境調査地点図



平成 29 年度雄物川水系水質環境調査結果（国土交通省）

1. 水 質 の 概 況

平成 29 年 10 月～平成 29 年 12 月までの雄物川上流（国土交通省湯沢河川国道事務所管内）及び雄物川下流（秋田河川国道事務所管内）の水質調査結果は次のとおりである。

調査地点……酒蔭橋、雄物川橋、大曲橋、岳見橋、椿川（黒瀬橋）、真人橋、岩崎橋、藤木上橋、
長野、玉川橋

1) 生活環境項目

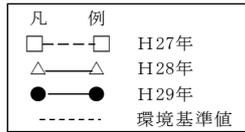
① pH 値、DO 値、BOD 値、SS 値については、各地点とも環境基準値を満足していた。

② 大腸菌群数については、10 月に雄物川橋、大曲橋、岳見橋、椿川、真人橋、岩崎橋、藤木上橋、
長野、玉川地点で 11 月に雄物川橋、大曲橋、岳見橋、椿川、真人橋、岩崎橋、藤木上橋、
玉川橋地点で、12 月に雄物川橋、大曲橋、真人橋、岩崎橋地点でそれぞれ環境基準値を
上回っていた。

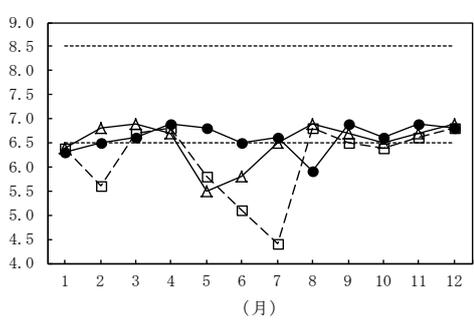
2) 健康項目

健康項目については、いずれの項目も環境基準値を満足していた。

酒蕨橋地点 月別水質変化図

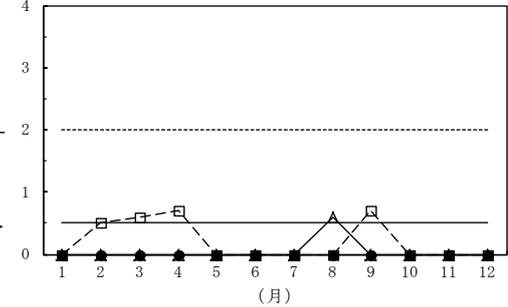


8.5 以下
↑
pH
↓
6.5 以上



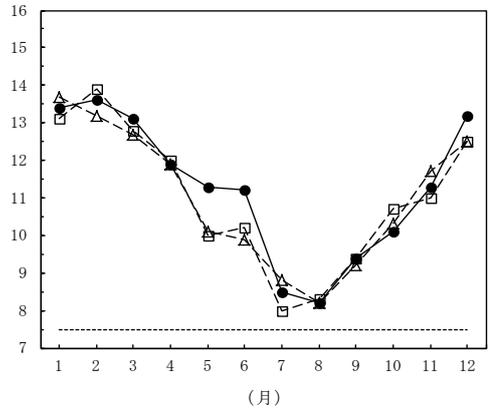
mg/L

BOD
2 以下
↓
定量下限値
0.5



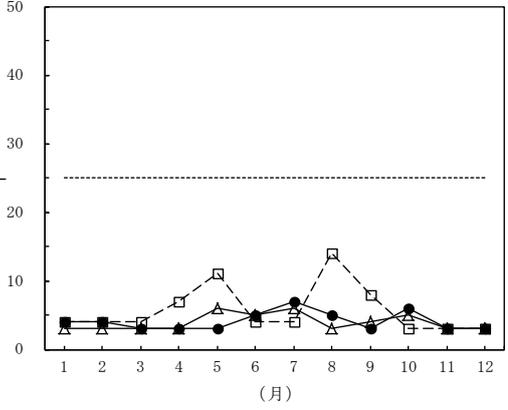
mg/L

D O
↑
7.5 以上

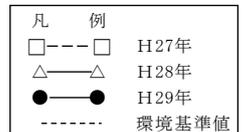


mg/L

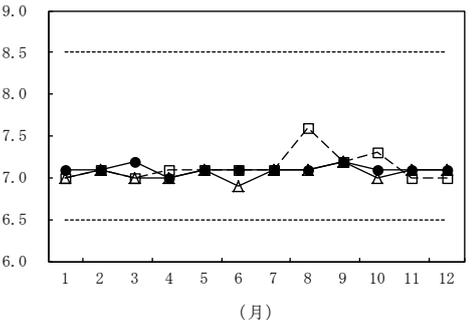
SS
25 以下
↓



雄物川橋地点 月別水質変化図

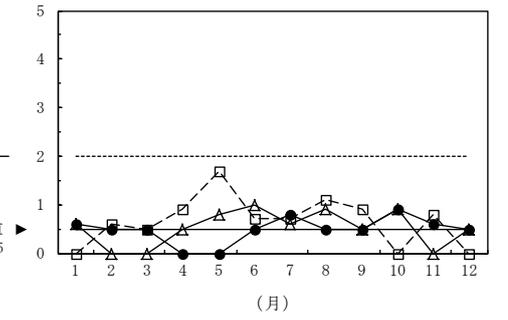


8.5 以下
↑
pH
↓
6.5 以上



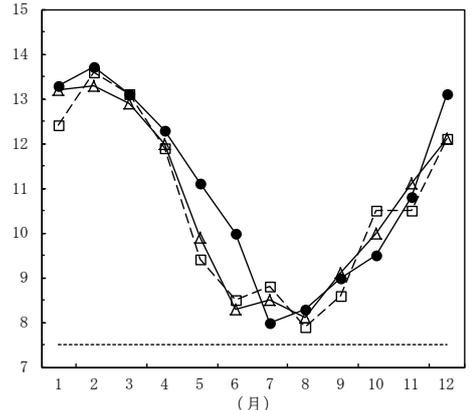
mg/L

BOD
2 以下
↓
定量下限値
0.5



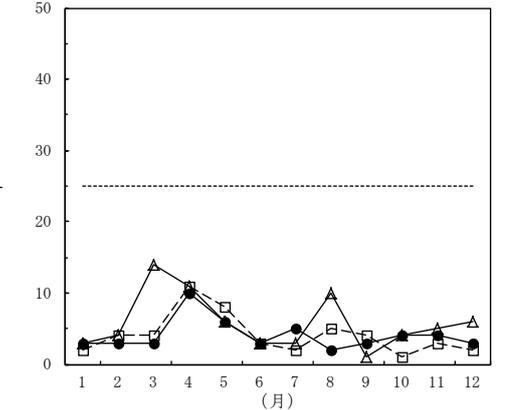
mg/l

D O
↑
7.5 以上

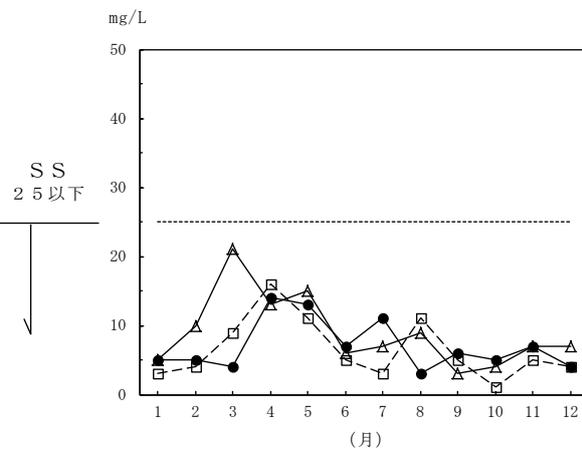
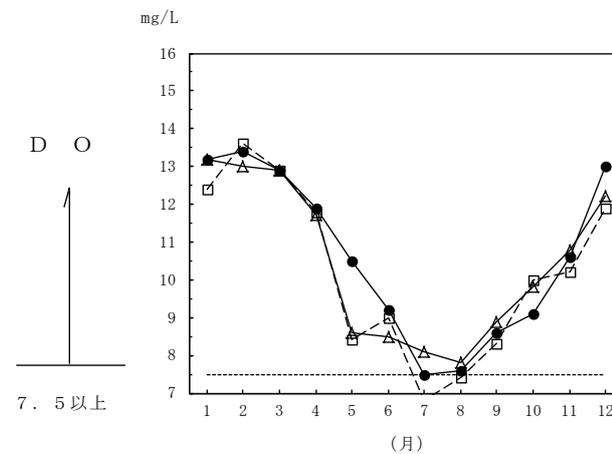
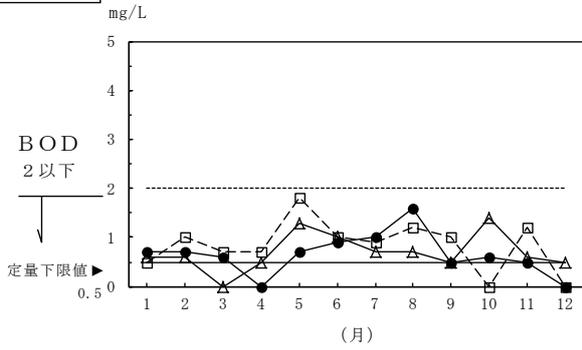
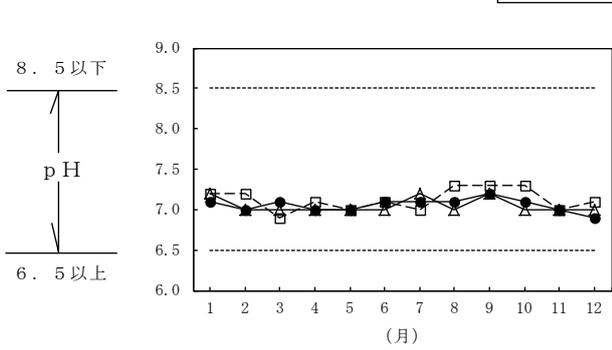
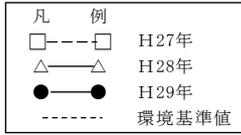


mg/L

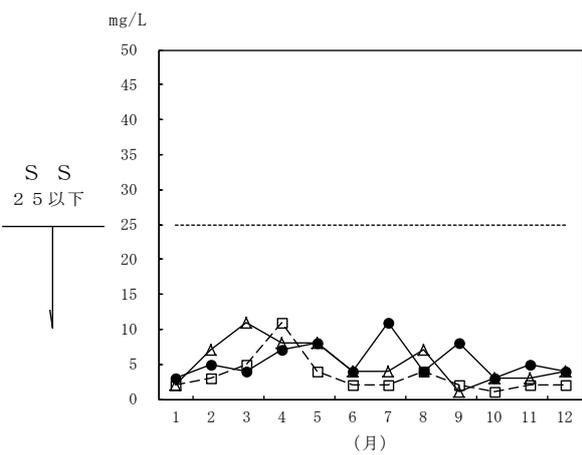
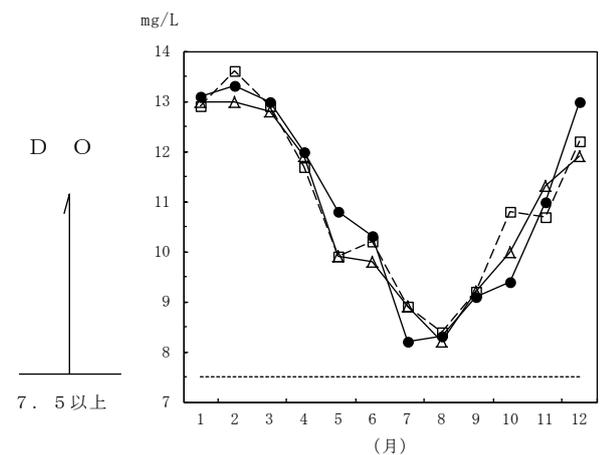
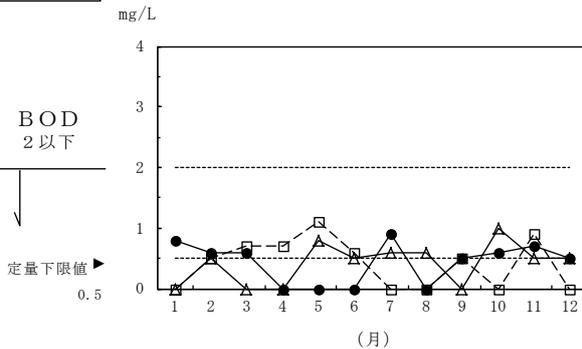
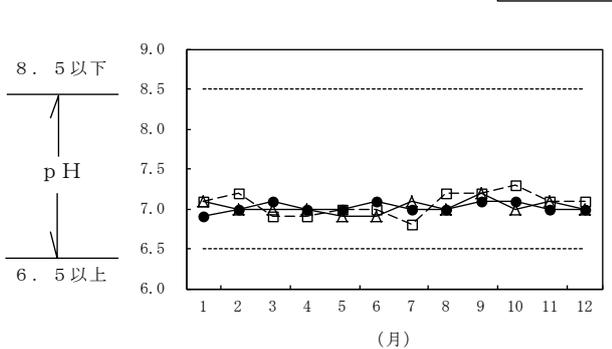
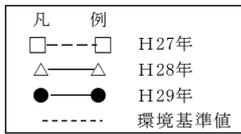
SS
25 以下
↓



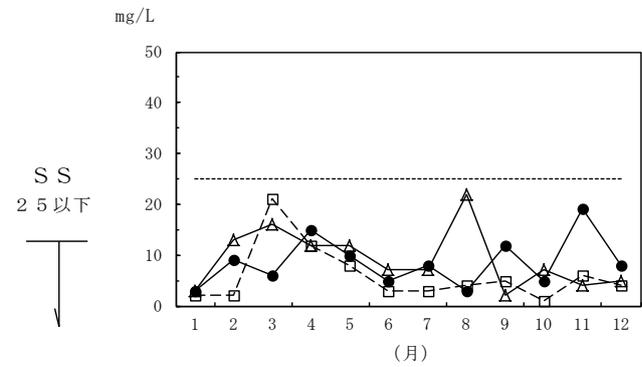
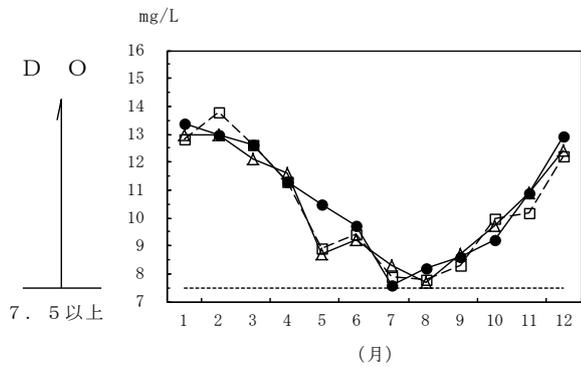
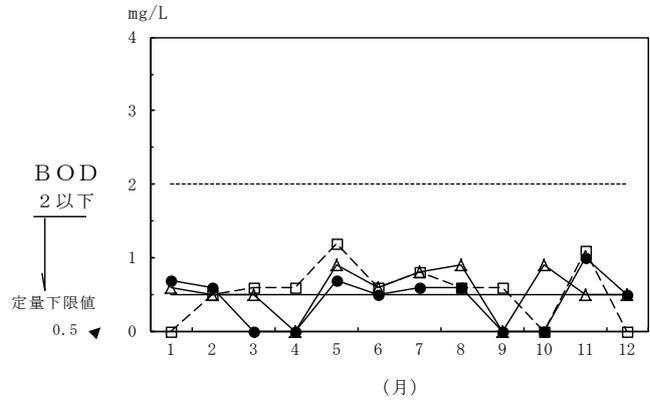
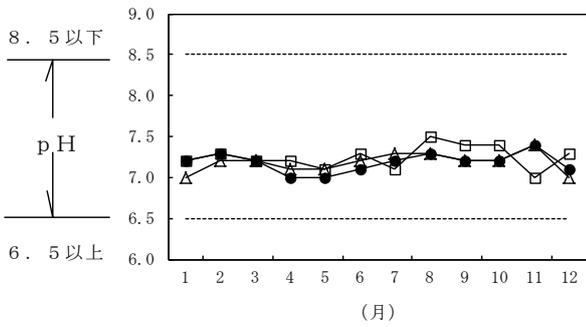
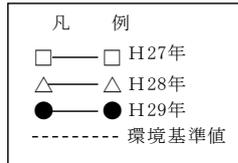
大曲橋地点 月別水質変化図



岳見橋地点 月別水質変化図



椿川地点 月別水質変化図



平成 29 年度雄物川水系水質調査結果の概要（秋田市）

平成 29 年 10 月から 12 月までに、秋田市が実施した雄物川水系の各調査地点の水質の調査結果は次のとおりです。

1 生活環境項目

(1) pH

全ての地点で環境基準値を満足していました。

(2) DO

全ての地点で環境基準値を満足していました。

(3) BOD

全ての地点で環境基準値を満足していました。

(4) SS

全ての地点で環境基準値を満足していました。

(5) 大腸菌群数

岩見川の岩見大橋（10～12月）、豊成小橋（本田橋）（12月）、三内川の飛沢橋（10～12月）、新城川の新城橋（10、12月）、新城川橋（10、12月）草生津川の面影橋（10～12月）、旭川の藤倉橋（10～12月）、添川橋（10～12月）、川口橋（11月）、新旭橋（10～12月）、太平川の地主橋（10～12月）、松崎橋（10～12月）、太平川橋（10～12月）、猿田川の開橋（10～12月）で環境基準値を超過しました。

2 健康項目

全ての地点で環境基準値を満足していました。

平成29年度 雄物川水系水質環境調査結果表 (平成29年10月～12月) 秋田市

()書きは基準値外

地点名	採水日	採水時刻	健康項目 (2)													(mg/L)				
			シクロ タン	四塩化 炭素	1,2- シクロエタン	1,1- シクロエチレン	シス-1,2- シクロエチレン	1,1,1- トリクロエタン	1,1,2- トリクロエタン	トリクロ エチレン	1,3-ジクロ プロペン	チカラム	シマジン	チオ ベンカルブ	ベンゼン	セレン	硝酸性窒素 及び 亜硝酸性窒素	ふっ素	ほう素	1.4 ジオキサン
豊成小橋 (本田橋) (若見川)	10/10	15:00	<0.002	<0.0002	<0.0004	<0.0005	<0.0006	<0.001	<0.0005	<0.0002	<0.0006	<0.0006	<0.0003	<0.002	<0.001	<0.002	0.25	<0.08	<0.1	
新坂川橋 (新城川)	10/10	10:03	<0.002	<0.0002	<0.004	<0.0005	<0.0006	<0.001	<0.0005	<0.0002	<0.0006	<0.0003	<0.002	<0.001	<0.002	0.28	<0.08	<0.1		
面影橋 (草生津川)	10/25	12:10	<0.002	<0.0002	<0.004	<0.0005	<0.0006	<0.001	<0.0005	<0.0002	<0.0006	<0.0003	<0.002	<0.001	<0.002	0.71	<0.08	<0.1		
川口橋 (旭川)	10/10	12:52		<0.0002		<0.0005		<0.001	<0.0005											
新坂橋 (旭川)	10/10	14:10	<0.002	<0.0002	<0.004	<0.0005	<0.0006	<0.001	<0.0005	<0.0002	<0.0006	<0.0003	<0.002	<0.001	<0.002	0.24	<0.08	<0.1		
太平洋橋 (太平川)	10/10	12:35		<0.0002		<0.0005		<0.001	<0.0005											
開橋 (猿田川)	10/10	13:10	<0.002	<0.0002	<0.004	<0.0005	<0.0006	<0.001	<0.0005	<0.0002	<0.0006	<0.0003	<0.002	<0.001	<0.002	0.38	<0.08	<0.1		
港大橋 (旧雄物川)	10/10	8:10	<0.002	<0.0002	<0.004	<0.0005	<0.0006	<0.001	<0.0005	<0.0002	<0.0006	<0.0003	<0.002	<0.001	<0.002	0.26	0.11	0.1		

環境基準

1. 生活環境の保全に関する環境基準（河川）

項目 類型	利用目的の適応性	基準値				
		水素イオン濃度 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD)	浮遊物質 (SS)	溶存酸素量 (DO)	大腸菌群数
AA	水道1級 自然環境保全及びA以下の欄に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	1mg/L 以下	25mg/L 以下	7.5mg/L 以上	50MPN /100mL以下
A	水道2級 水産1級 水浴及びB以下の欄に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	2mg/L 以下	25mg/L 以下	7.5mg/L 以上	1,000MPN /100mL以下
B	水道3級 水産2級 及びC以下の欄に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	3mg/L 以下	25mg/L 以下	5mg/L 以上	5,000MPN /100mL以下
C	水産3級 工業用水1級 及びD以下の欄に掲げるもの	6.5以上 8.5以下	5mg/L 以下	50mg/L 以下	5mg/L 以上	—
D	工業用水2級 農業用水 及びEの欄に掲げるもの	6.0以上 8.5以下	8mg/L 以下	100mg/L 以下	2mg/L 以上	—
E	工業用水3級 環境保全	6.0以上 8.5以下	10mg/L 以下	ゴミ等の浮遊が認められないこと	2mg/L 以上	—

第1の2の(2)により水域類型ごとに指定する水域

項目 類型	水生生物の生息状況の適応性	基準値			該当水域
		全亜鉛	ノニルフェノール	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及其の塩	
生物A	イワナ、サケマス等比較的低温域を好む水生生物及びこれらの餌生物が生息する水域	0.03mg/L 以下	0.001mg/L 以下	0.03mg/L 以下	第1の2の(2)により水域類型ごとに指定する水域
生物特A	生物Aの水域のうち、生物Aの欄に掲げる水生生物の産卵場（繁殖場）又は幼稚子の生育場として特に保全が必要な水域	0.03mg/L 以下	0.0006mg/L 以下	0.02mg/L 以下	
生物B	コイ、フナ等比較的高温域を好む水生生物及びこれらの餌生物が生息する水域	0.03mg/L 以下	0.002mg/L 以下	0.05mg/L 以下	
生物特B	生物Bの水域のうち、生物Bの欄に掲げる水生生物の産卵場（繁殖場）又は幼稚子の生育場として特に保全が必要な水域	0.03mg/L 以下	0.002mg/L 以下	0.04mg/L 以下	

2. 人の健康の保護に関する環境基準

項目	カドミウム	全シアン	鉛	六価クロム	ヒ素	総水銀	アルキル水銀
基準値	0.003 mg/L以下	検出されないこと	0.01 mg/L以下	0.05 mg/L以下	0.01 mg/L以下	0.0005 mg/L以下	検出されないこと
項目	PCB	ジクロロメタン	四塩化炭素	1,2-ジクロロエタン	1,1-ジクロロエチレン	シス-1,2-ジクロロエチレン	1,1,1-トリクロロエタン
基準値	検出されないこと	0.02 mg/L以下	0.002 mg/L以下	0.004 mg/L以下	0.1 mg/L以下	0.04 mg/L以下	1 mg/L以下
項目	1,1,2-トリクロロエタン	トリクロロエチレン	テトラクロロエチレン	1,3-ジクロロプロペン	チウラム	シマジン	チオベンカルブ
基準値	0.006 mg/L以下	0.01 mg/L以下	0.01 mg/L以下	0.002 mg/L以下	0.006 mg/L以下	0.003 mg/L以下	0.02 mg/L以下
項目	ベンゼン	セレン	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	ふっ素	ほう素	1,4ジチオ	
基準値	0.01 mg/L以下	0.01 mg/L以下	10 mg/L以下	0.8 mg/L以下	1 mg/L以下	0.05 mg/L以下	